
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 7月4日～7月10日

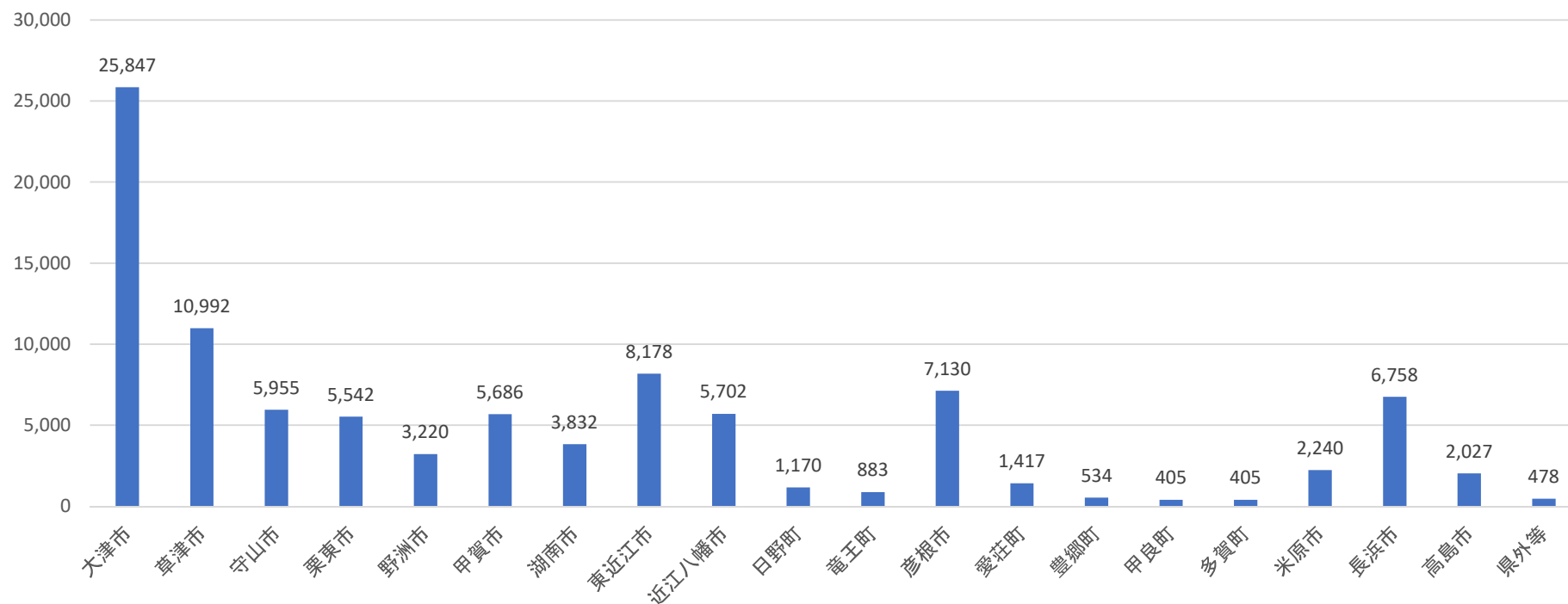
7月12日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

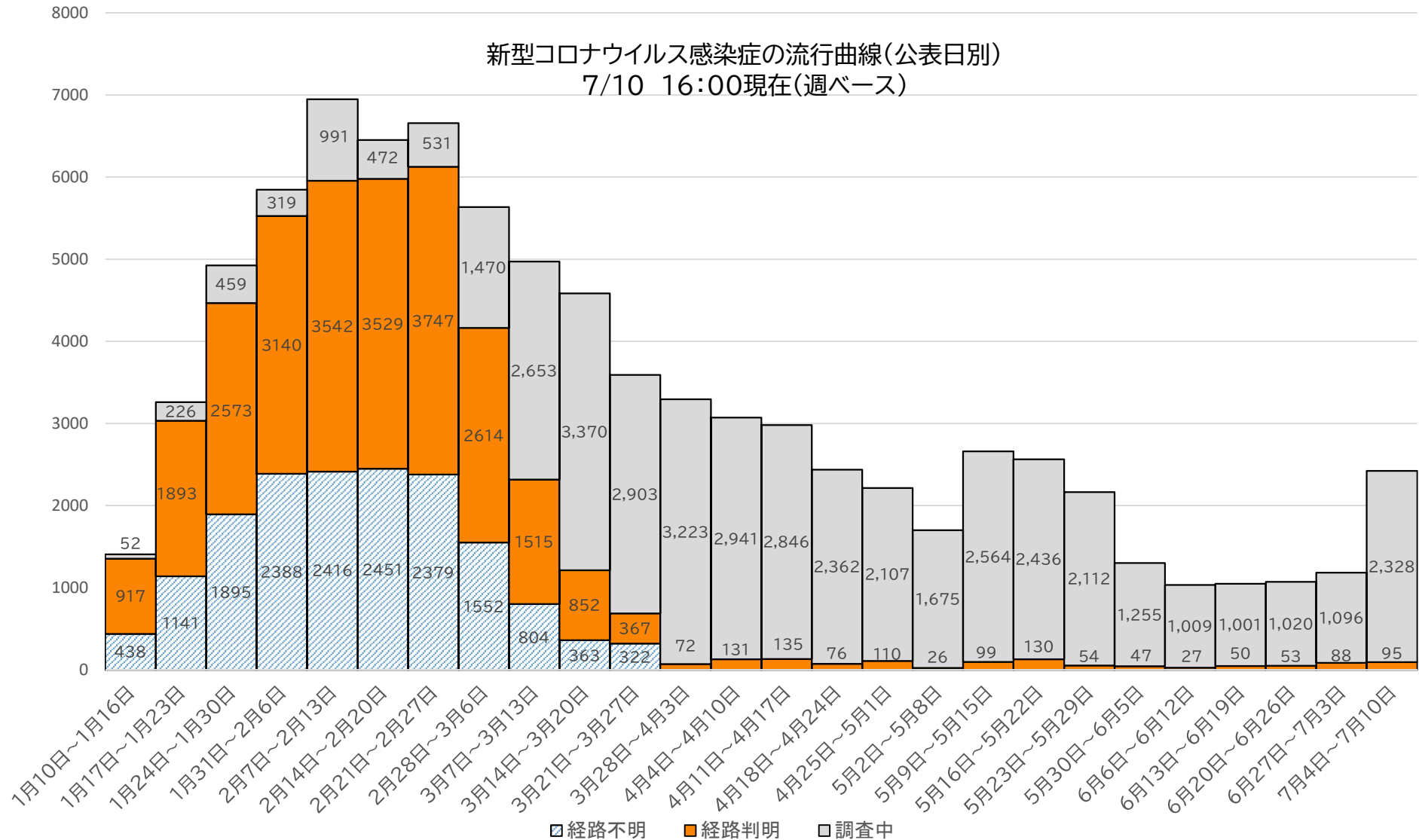
	新規感染者数
今週の報告数(7/4~7/10)	2,423人
累計(7/10時点)	98,401人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



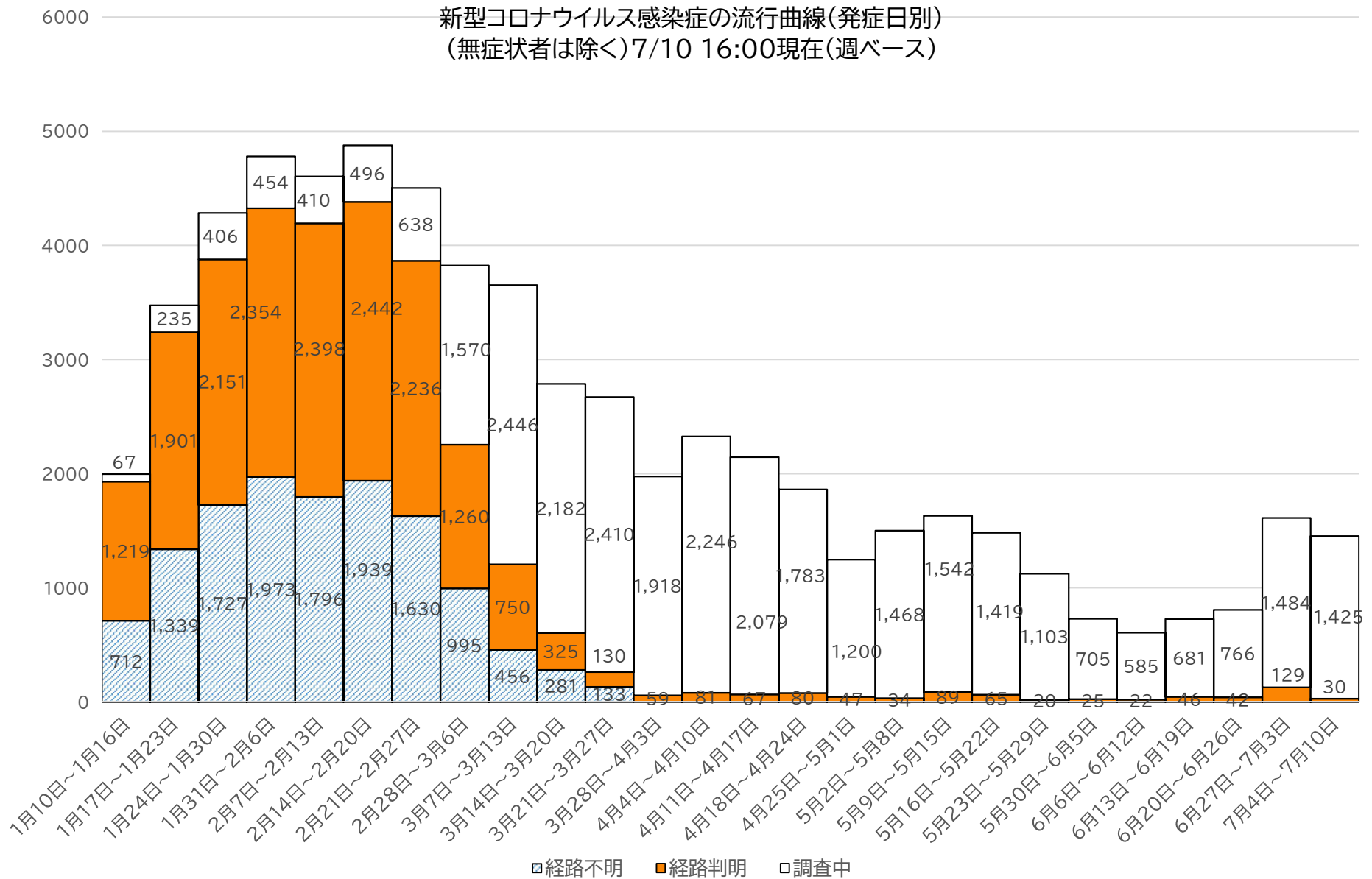
3) 県内の感染動向

① 流行曲線(公表日別)(7月10日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

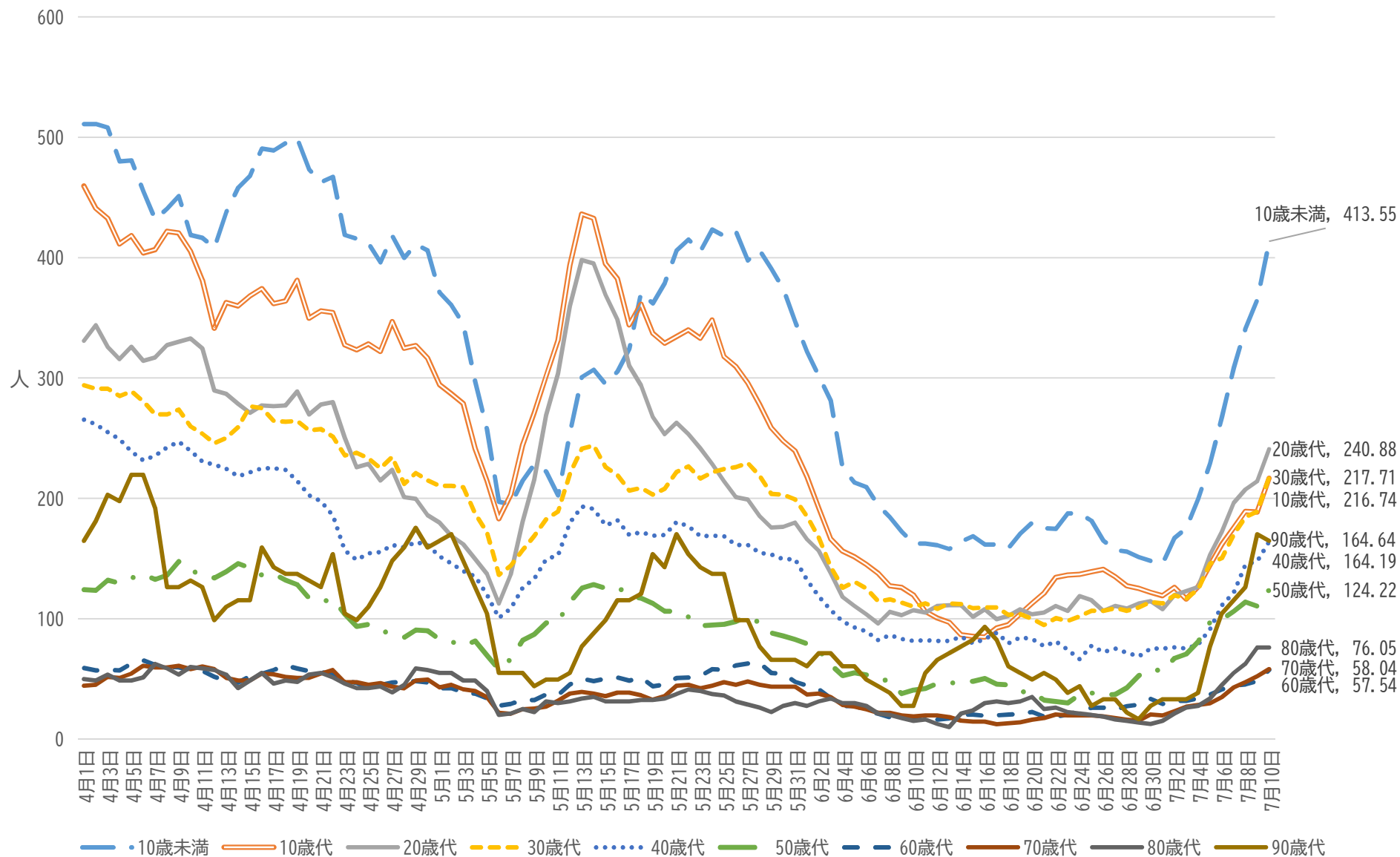
②流行曲線(発症日別)(7月10日現在)



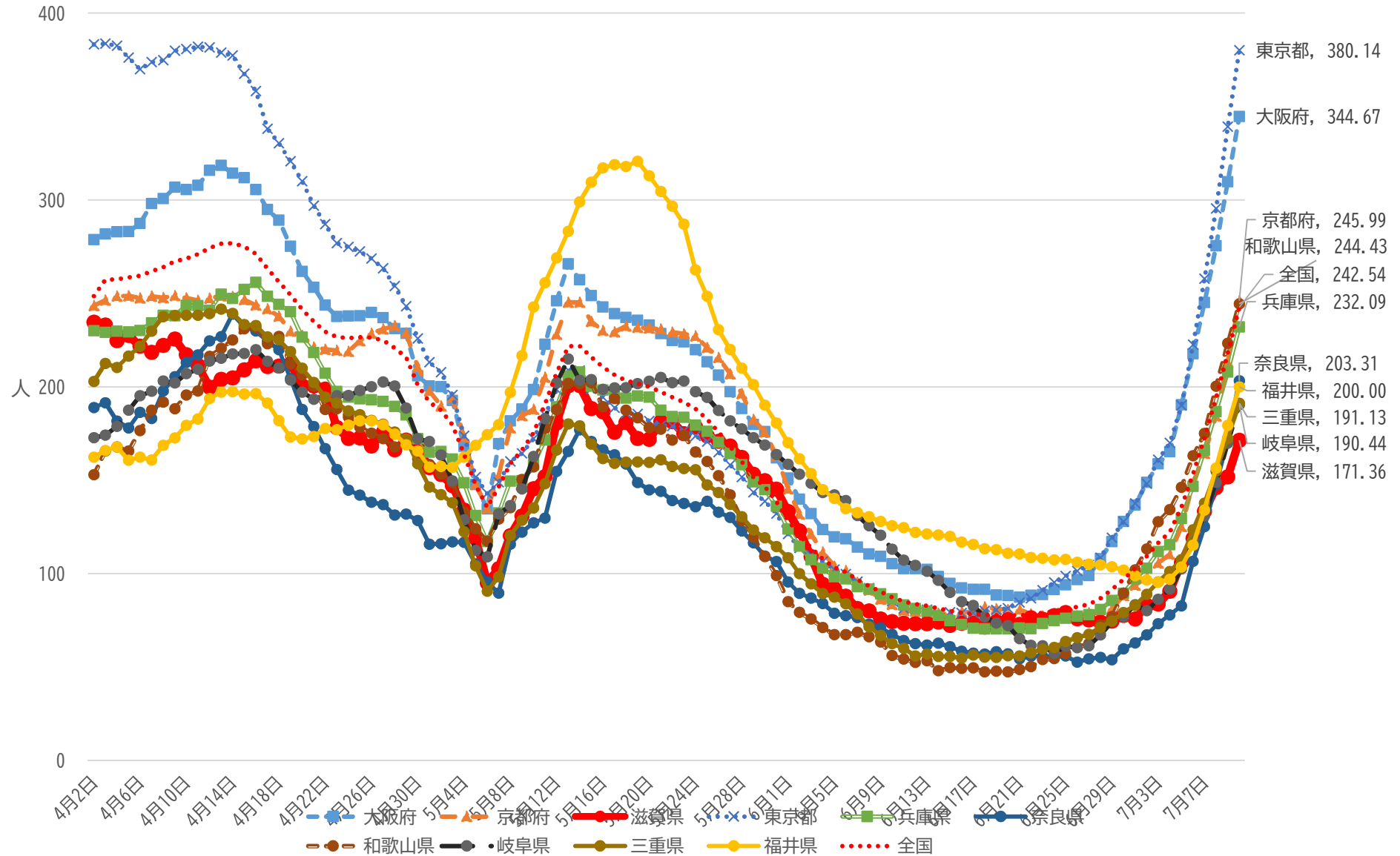
注)無症状者を計上していません。今後7/10以前に発症した患者が届出されることがあります。

4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 7/10)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 7/10)



2、県内の感染状況と体制について(7/10現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数			空床数		療養者数			清掃・修 理待ち	空数
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	391	150	123	27	241	630	156	149	7	5	469

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数							入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中				入院予定等	宿泊 療養				
				重症	中等症	軽症						
PCR検査数	438,977											
(うち行政検査分	189,802)	98,401	2,821	123	1	20	102	2,549	149	95,358	222	
(うちその他検査分	249,175)	(うちPCR検査判明分	58,216)					(うち自宅待機	152)			
抗原検査数	255,764	(うち抗原検査判明分	40,185)					(うち自宅療養	2397)			

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

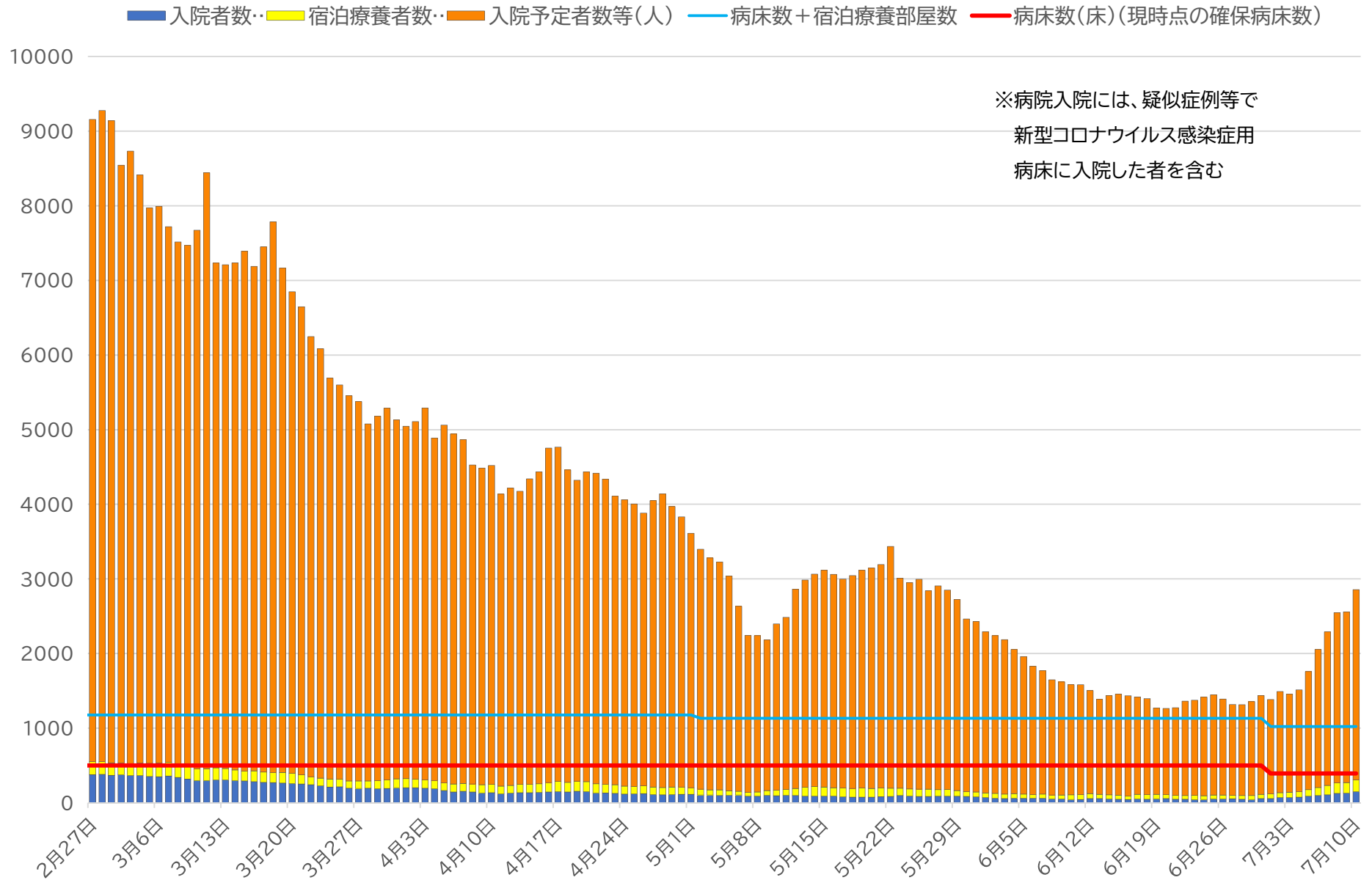
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

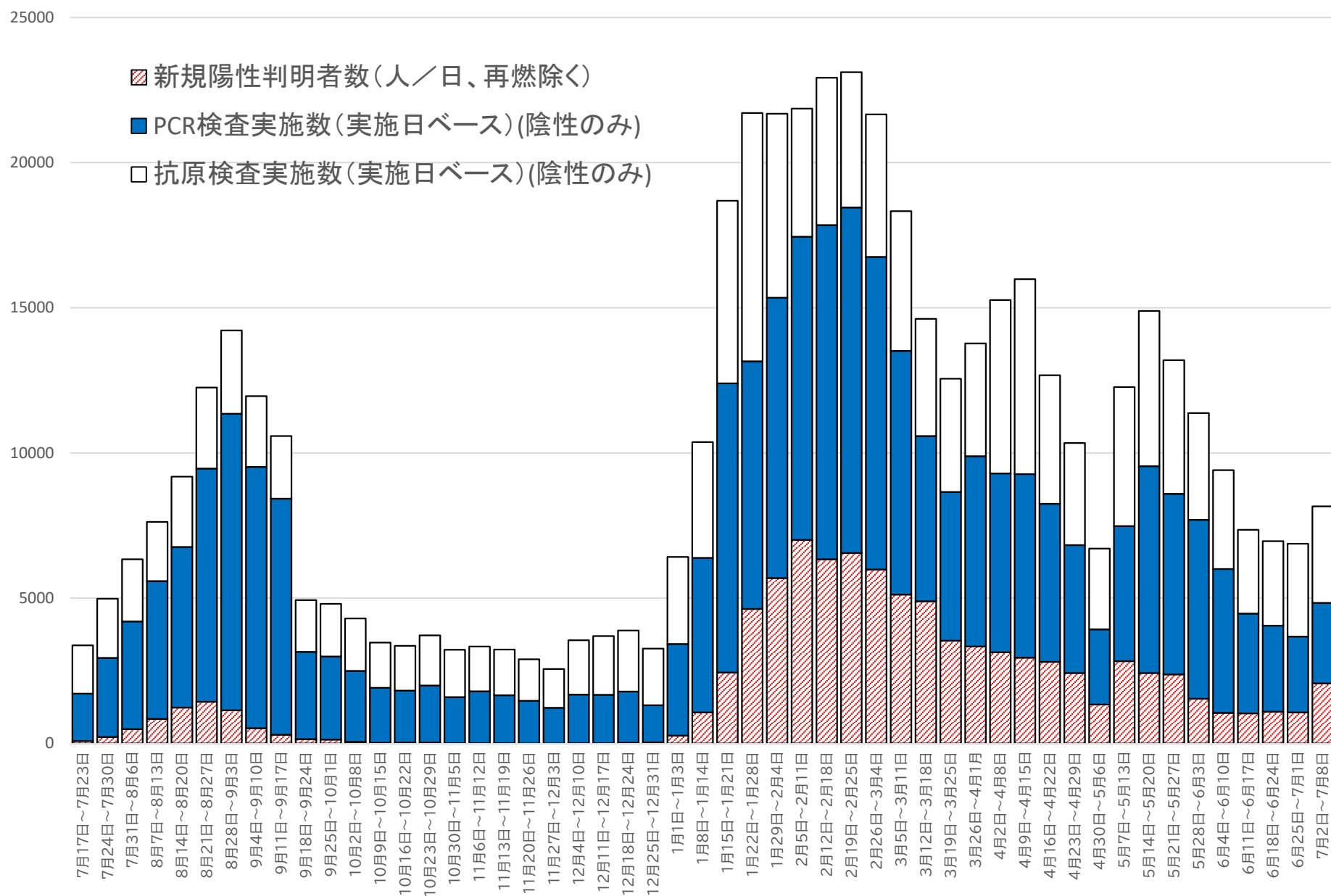
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

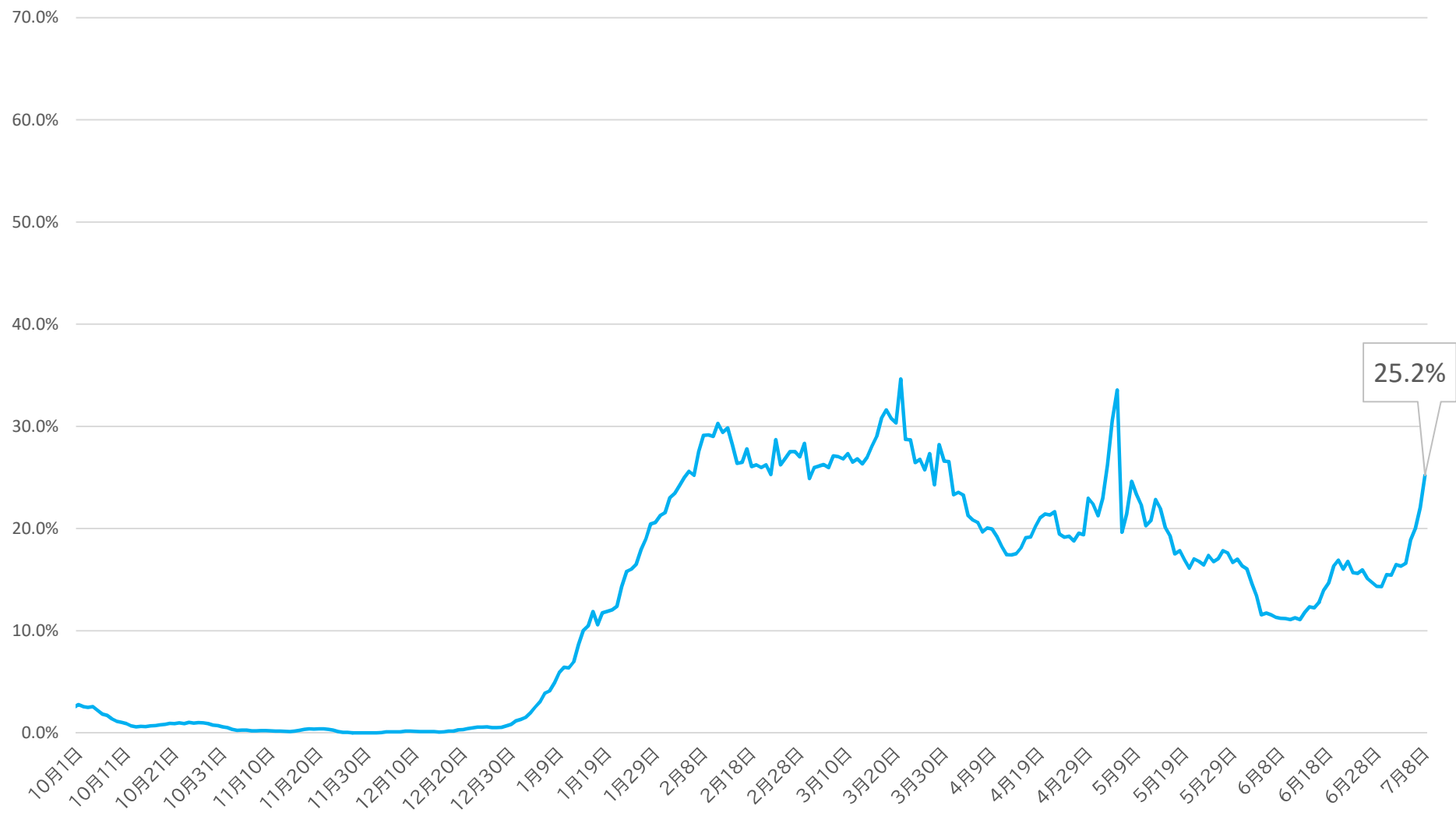
3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

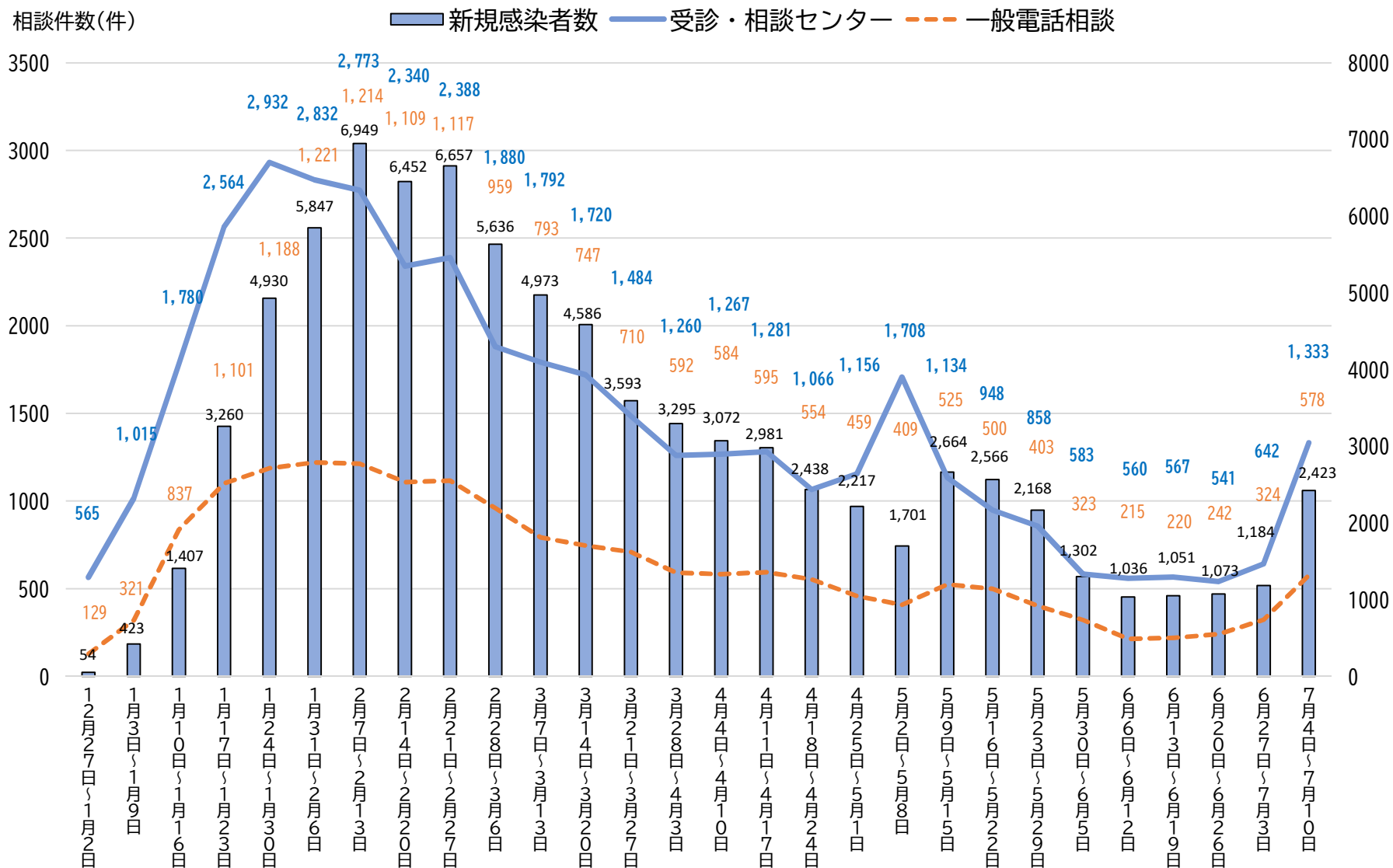


- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、7月8日現在の陽性率は25.2%でした。

6)相談体制について

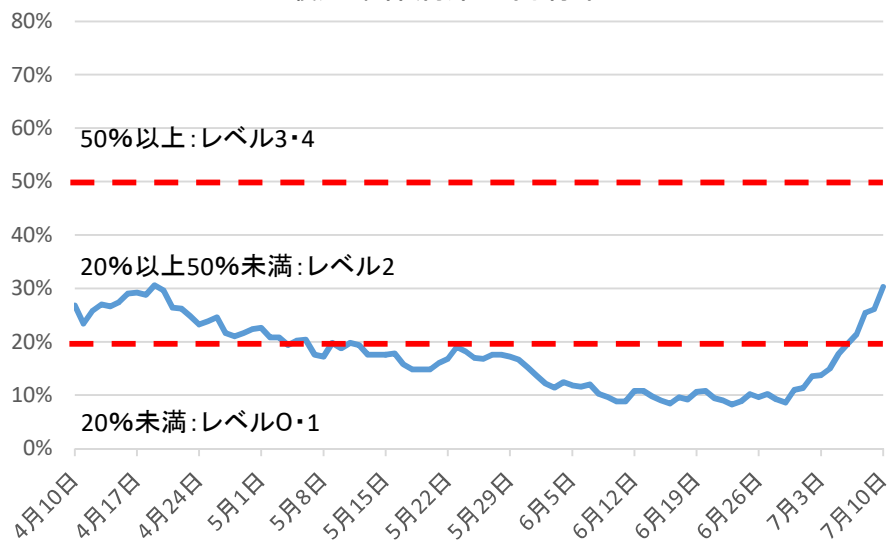
相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

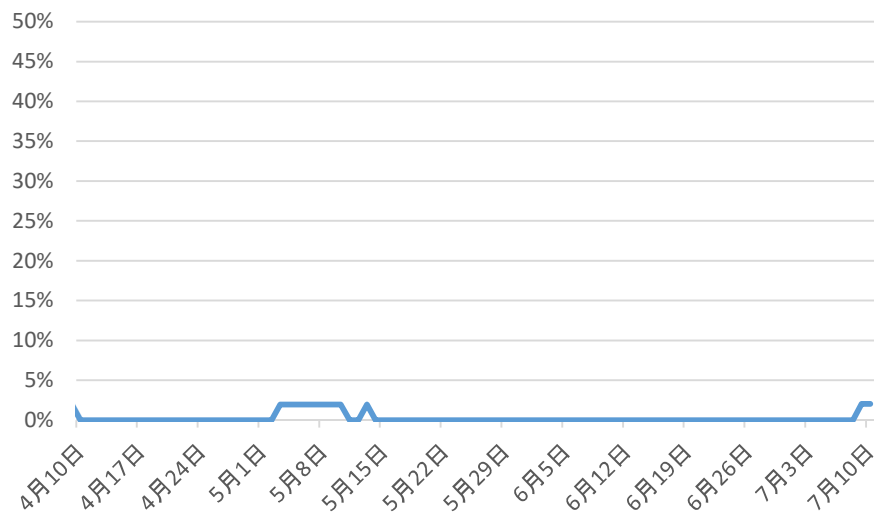


7)その他の県内の感染動向

最大確保病床の占有率



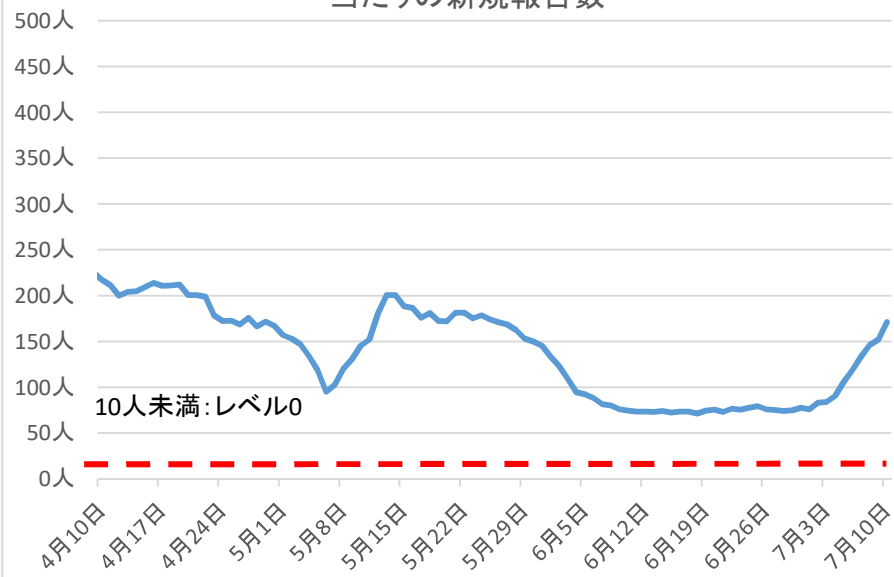
重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



評価(7/4~7/10の感染状況)

- 全国的に新規陽性者数の増加が見られ、連日、前週の約2倍となっており、実行再生産数は7月10日時点で1.58となりました。明らかな増加傾向にあり、一部の地域では過去最多を更新するなど急激な増加が見られています。
- 本県も新規陽性者数が4週連続で前週よりも多くなり、今週先週比が2.05と急増しています。曜日別では、9日連続で前週の同じ曜日よりも多く、前週の2倍以上となった日も多くあります。年代別では、30歳代以下の若年層で急増が見られ、特に10歳未満の増加が顕著です。保健所別では全地域で増加傾向となっています。
- オミクロン株BA.5への置き換わりも増加の背景にあると言われてはいますが、現在のところ明確ではありません。2020年、2021年ともに7月から8月にかけて新規陽性者数が全国的に増加しており、現在の全国の動向からも今後も増加傾向が続くことが考えられます。
- 最大確保病床に対する占有率は7月10日時点で30.3%となり、新規陽性者数の増加とともに、中等症の患者数も増加し、重症患者も出てきています。高齢者で重症化リスクが高いことは知られており、高齢者層に感染拡大しないようにしていく必要があります。
- 医療機関、高齢者施設等で継続的にクラスターが確認されています。個人および組織での基本的な感染対策を改めて確認・徹底する必要があります。
- 気温が上昇する時期であり、冷房のため窓を閉め切ることが多くなっていることが想定されます。密閉空間では感染リスクが増加します。一般的なエアコンでは換気できないため、冷房中も常時換気が必要です。
- ワクチン接種についても、効果は徐々に減弱します。3回目・4回目の追加接種の対象者は計画的な接種が必要です。50歳未満の若い年代の一層のワクチン接種を進めることも重要です。